

社会民主主義 フォーラム

全国 通信

No. 46

2023年
4月14日

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-6-9

DIK麹町ビル704号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

吉田ただとも候補（参議院大分）の必勝とともに 後半戦での全候補者の勝利をめざそう

4月9日投開票の前半戦で、立憲民主党は道府県議選において改選前の204議席から214議席へと議席増を勝ち取りました。社会民主主義フォーラム関係議員は21人が当選を果たしました。新人議員当選の一方で、現職や新旧交代でのつまずきなど一定の課題も残すこととなりました。後半戦が始まります。参議院大分選挙区補欠選挙での吉田ただとも候補の必勝と全候補者の勝利に向けて奮闘しましょう。



桜田ゆうこ（秋田県議会議員 秋田市選挙区）

今回、秋田市選挙区は現職議員全員が引き続き立候補するという激戦でしたが、第5位で当選することができました。「働くことや子育てが幸せにつながる秋田へ」をスローガンに掲げ、立憲民主党の支持者や支援労組、そしてイーグスアショア配備に反対した市民の皆さんへの呼びかけに、多くの共感と支持をいただいた結果だと思っています。

党は地域の中ではまだ小さな存在ですが、今回の勝利をバネに、ボトムアップ型の、市民が主体的・積極的に政治参画することができる場を作り、「幸せにつながる秋田」の創造に向けスタートをする決意です。

まつい愛（山形県議会議員 山形市選挙区）

自分自身が長年携わってきた「不登校や引きこもりに悩む若者らの支援」はぜひ取り組みたい。学校現場は教員が足りていませんし、予算も僅かです。新人ですが、しっかり議論を重ねたいと思います。

地域の課題が多様化していますので「連携する行政とNPO」を促進したいです。多様性や新しい人とのつながり方に注目すれば、他県からの人の呼び込みを後押しになりますし、未来に向けた社会づくりだと思います。県の行政で働く皆さんとともに汗をかき、県民のために働く議員を目指したいと考えています。



松本哲也（宮崎県議会議員 延岡市選挙区）

今回の宮崎県議会議員選挙にあたり、社会民主主義フォーラムみやざきのご支援を賜り、ありがとうございました。太田清海県議の後任として、これから、頑張って参ります。延岡市議会議員の時、社民党の合流、そして、フォーラムの立ち上げに関わった一人として、今後は、平和・脱原発の運動を始めとして、憲法を生かした社会を目指して、政治を変えていくために、県議会でしっかり取り組みます。

その上で、仲間の皆さんとそして、多くの方を運動に巻き込みながら、新たな運動の展開に取り組むことで、社会民主主義フォーラムの組織強化、拡大に励んで参ります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

永山としろう（宮崎県議会議員 都城市選挙区）

5期20年勤めた前職の後を継いで臨んだ選挙戦。候補者を支える側から、支えられる側へ。現職組織の力の低下、退職者の高齢化による運動の鈍化。内情が良く分かるだけ、もどかしさや不安が募る。それでも、終盤に近づくに連れて、反応が変わってきた。見たこともない人から手を振ってもらう。期日前投票してきたからな、と声かけしてもらう。

自分の知らない所で、着実に広がってきている。ありがたい。ああ、これが候補者の見ている世界なんだ。自分一人では成し得なかった。多くの人の支えにより、当選を勝ち得た。今度はこれまで支えてくれた仲間のために、自分や自分の掲げるリベラルな政策を支持してくれた人たちのために、恩返しをしよう。



自治体選勝利と組織拡大を決意

福島第3回総会



挨拶する紺野長人県議・県フォーラム代表

福島県社民フォーラムは3月25日、自治体選挙勝利と組織拡大へ向けて第3回定期総会を福島市で開催し、各地区代議員など約60名が参加しました。

冒頭、紺野長人代表が「この二年間はこれまでと違った場面にあたってきた。今年は自治体選挙の年であり、労働者・市民の皆さんが何で悩んでいるのか、それを解決するための政治をつくる必要がある」と決意を込めて挨拶しました。

そして立憲民主党福島県連代表の金子恵美衆議院議員、連合福島・澤田精一会長、県平和フォーラム・瀬戸禎子共同代表から連帯のあいさつがあり、社民フォーラム中央と東北社民フォーラムからのメッセージが披露されました。

議事提案では、①「今年の自治体選挙予定候補者を全員勝利させること」②「憲法を暮らしの中に活かし、脱原発など国民の生活と権利を守る国民運動を強化する」③「こられの活動を通じて組織の強化拡大を図る」ことを基本に一年間の活動方針が示されました。

各地区代議員からは「脱原発運動の更なる強化」「組織強化・拡大」の補強意見や「地方選勝利に向けた労組との意見交換会」などの活動報告を受けました。

最後に、紺野長人代表をはじめ現役員を再任し、予定される自治体選挙予定候補者全員の決意表明を受けたあと、「自治体選挙を勝利し、組織拡大を強化する」決議案を採択し閉会しました。

意見広告運動など党内に呼びかけ

埼玉第3回総会

3月30日に第3回埼玉社民フォーラム総会が、熊谷裕人参議院議員（立憲民主党埼玉県総支部連合会代表代行）、中川直人・社民フォーラム事務局長の参加のもと開催されました。

熊谷参議院議員からは、冒頭、去年の参議院選で当選した高木まり候補への支援に対するお礼と感謝がありました。そして防衛費が異常に増大した23年度予算案を阻止できなかったのは、立憲民主党の力不足であり、次期国政選挙での議席拡大が必要だと強調しました。

また不安や懸念が出されている維新の会との院内共闘については、一致する政策課題限定の共闘であると理解を求めました。統一地方選挙、衆参の補欠選挙で野党が議席を伸ばし、衆議院選挙への準備を進めたいと決意を語りました。

経過、方針についての議論では、東上党員協（私鉄）からは参議院選挙における活動、地域党員からは地方



来賓の熊谷裕人・参議院議員

選挙に向けた活動や、原爆絵画展や憲法をまもるための意見広告運動への参加を、立憲党内で呼びかけていると報告されました。